

科目名		経営組織論Ⅰ（Oganizational TheoryⅠ）							
学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第4学年	経営情報学科	学修	1 単位	必修	講義	前期	45 時間		
担 当 教 員		【常勤】教授 松野 成悟							
学 習 到 達 目 標									
科目の到達目標レベル	(1)組織論における基礎事項を理解することができる。 (2)企業間関係の理論と特徴を説明できる。 (3)企業組織に関する今日的な状況を考察し課題を論じることができる。								
到達目標 (評価項目)	優れた到達レベルの 目安	良好な到達レベルの 目安		最低限の到達レベルの 目安		未到達レベルの 目安			
到達目標 ①	組織論における基礎事項を理解することができる。 8割以上	組織論における基礎事項を理解することができる。 7割以上		組織論における基礎事項を理解することができる。 6割以上		組織論における基礎事項を理解することができない。 6割未満			
到達目標 ②	企業間関係の理論と特徴を説明できる。 8割以上	企業間関係の理論と特徴を説明できる。 7割以上		企業間関係の理論と特徴を説明できる。 6割以上		企業間関係の理論と特徴を説明できない。 6割未満			
到達目標 ③	企業組織に関する今日的な状況を考察し課題を論じることができる。 8割以上	企業組織に関する今日的な状況を考察し課題を論じることができる。 7割以上		企業組織に関する今日的な状況を考察し課題を論じることができる。 6割以上		企業組織に関する今日的な状況を考察し課題を論じることができない。 6割未満			
学習・教育到達目標		(C)②		JABEE基準1(2)		(d)-(1)			
達 成 度 評 価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間 試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合	35	35		30					100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎		◎					100
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】	○	○		○					
汎用的技能 【論理的思考力】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】									

関 連 科 目 , 教 科 書 お よ び 補 助 教 材	
関連科目	経営管理論Ⅰ・Ⅱ
教科書	なし
補助教材等	プリント
学 習 上 の 留 意 点	
担 当 教 員 か ら の メ ッ セ ー ジ	
<p>本授業は、有力な学説の紹介と解説および吟味をおこない、経営組織論の基礎的考え方や概念について学習する。また、組織デザインや組織文化、組織変革、企業間関係の管理など、経営組織研究における多岐にわたるトピックも積極的にとりあげ、企業組織の運営管理における今日的な課題についても検討する。</p>	

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス	・シラバスを通じて、学習の意義や授業の進め方、評価方法などを理解できる。	
2	競争と協調	・競争環境下における協調行動の進化や「対話」、デファクト・スタンダードについて理解できる。	適宜指示する。
3	アーキテクチャと製品開発	・製品開発における組織について、ユーザー、プロデューサー、ゲートキーパーといった主体が担う役割を理解できる。	適宜指示する。
4	トランスナショナル企業と組織文化	・企業が国際的な展開をみせる場合、組織もこれに伴い変化する。その過程と特徴を理解できる。	適宜指示する。
5	ドミナント・ロジックと個体群生態学	・当該組織専門の成功のロジックであるドミナント・ロジックとは何かを理解するとともに、企業組織の「淘汰」に関し理解する。	適宜指示する。
6	システムとしての組織	・近代組織論を軸に、組織や環境について理解する。	適宜指示する。
7	経営組織研究のトピック	・ゲストスピーカーとして、経営組織論を専門とする研究者あるいは実際に企業組織の運営管理に携わっている実務家を招へいし、経営組織に関するトピックを学習する。	適宜指示する。
8	中 間 試 験		
9	試験返却・解答解説 企業間アライアンス	・試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できる。 ・さまざまな業務・資本提携の形態と特徴を理解できる。	適宜指示する。
10	M&A①	・M&Aの形態と特徴を理解できる。	適宜指示する。
11	M&A②	・代表的なM&Aの方法とその防衛策を理解できる。	適宜指示する。
12	企業間関係の管理	・企業間関係を分析する枠組みとして取引費用理論を理解できる。	適宜指示する。
13	アウトソーシング①	・アウトソーシングの一般的な形態と特徴を理解できる。	適宜指示する。
14	アウトソーシング②	・情報システムのアウトソーシングの今日的な特徴と課題を理解できる。	適宜指示する。
	期 末 試 験		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できる。 ・全体の学習事項のまとめが理解できる。	
総 学 習 時 間 数			45 時間
講 義			30 時間
自学自習			15 時間